

「第7回路面電車のある風景」写真コンテスト審査結果

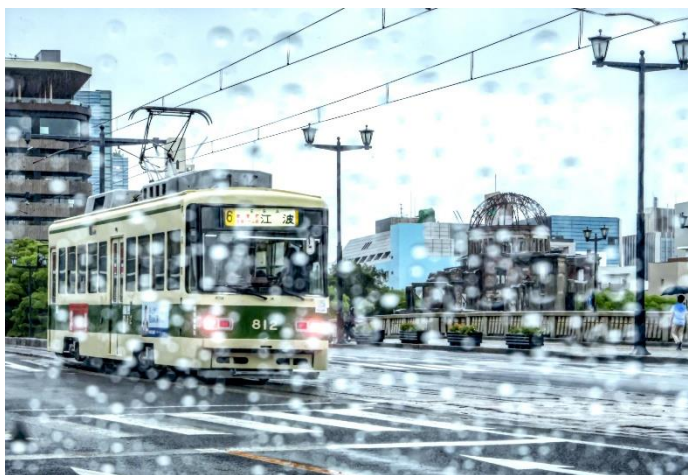
応募人数 37 人 応募点数 106 点 審査員・講評 関西本部委員長 山中 健次



「ドローン」 野本洋一郎（広島市）

推薦

カーブを描きながら街中を走行する路面電車。俯瞰撮影したことで、電車の屋根や連結部の構造が分かり、ジオラマ風で可愛い電車に見えます。なお、タイトルには一考を要します。



「雨のドームと電車」 原田今朝弘
（広島市）

雨粒を少しぼかし、原爆ドームを背景に走行する路面電車を捉えています。雨の日でも、いつも通り走り続ける市民のアクセスとしての役割が表現されています。



特選 「競争」 辻 重樹（東広島市）

不要なモノ・人を入れず、流し撮りで電車とバイクのみを写しています。この場所ではバイクと同じくらいの速度で電車が走行していることが分かります。撮れそうで撮れない作品です。

準特選



「夕焼けの電車通り」荒川純一（広島市）



「擦れ違い」瀬尾 清(海田町)



「電停にて」

朝枝加津子（広島市）

入選



「黄昏」安田慶子
（東広島市）



「相生橋を行く」三次凱彦
（広島市）



「夜行電車」太田和子(高知県)



「坊ちゃん電車」西村光洋
（高松市）



「橋の街電車走る」河野宏志
（広島市）



「TAMA 号」石原一夫(岡山市)



「茜空の交差点」道又俊二(神戸市)



「リフレッシュ」小谷和己(埼玉県)



「原爆を知る電車」
荒川洋子(広島市)



「出発進行」玉田一雄
（広島市）